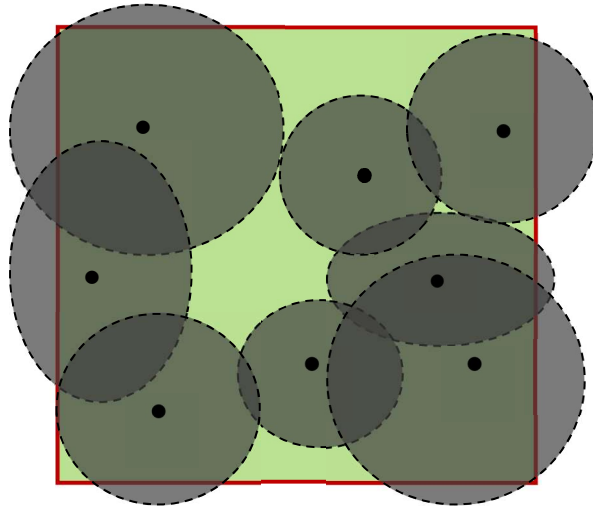


1. 樹冠投影図と相対照度の関係

●樹冠投影図調査

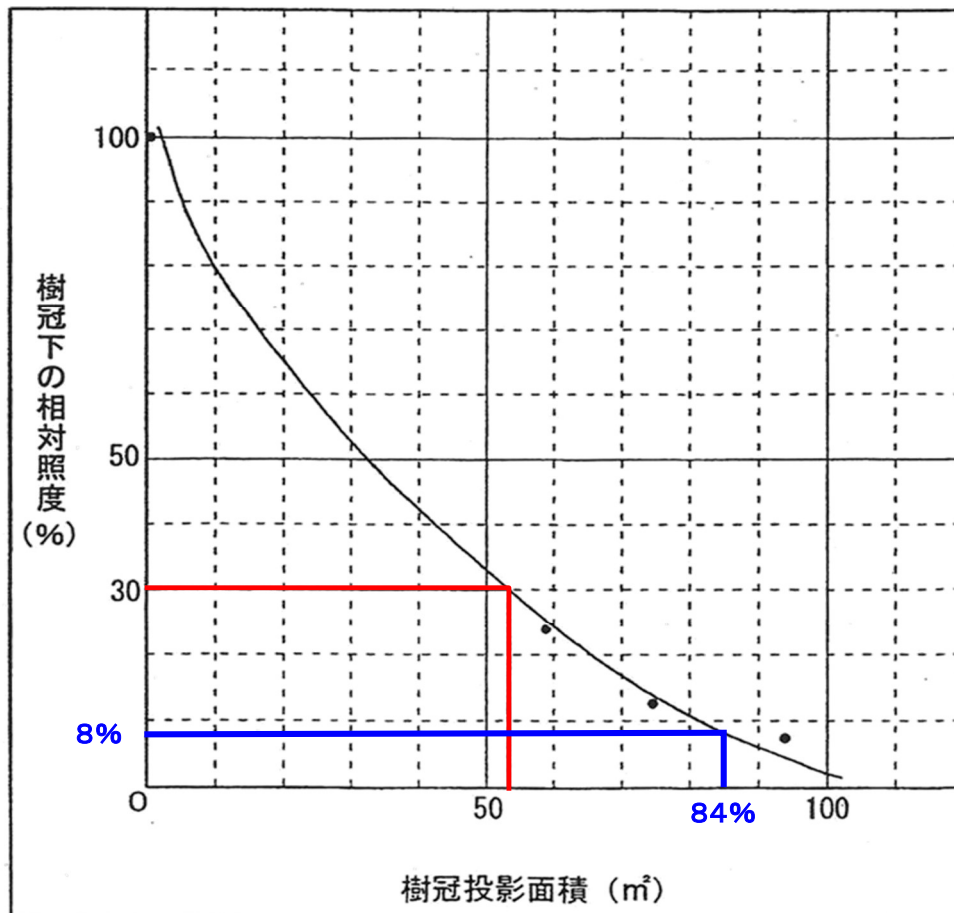


樹冠投影図：上空から樹林を見たように、樹冠の大きさをそのまま地上に投影した図。

相対照度：林内の明るさを示す指標の1つ。林内と林外(天空が解放されている)の照度の相対値(%)で示す。同時計測を行う。

●樹冠投影面積と樹冠下の相対照度には下図の相関関係がある

例) 調査対象地100㎡の内、樹冠投影面積が53㎡であった場合、
樹冠下の相対照度は30%



2. 森の広場を作る・・・上層高木の除伐

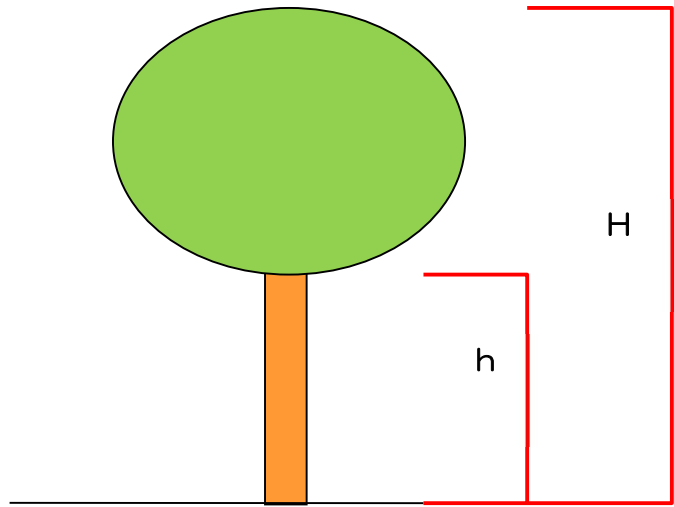
除伐木選定のための上層高木の健全度診断

1) 樹高比：じゅこうひ

枝下高 (h) ÷ 樹高 (H)。

この値が大きくなるほど
風雪害の影響を受けやすくなる。

0.5以下を適性とする。

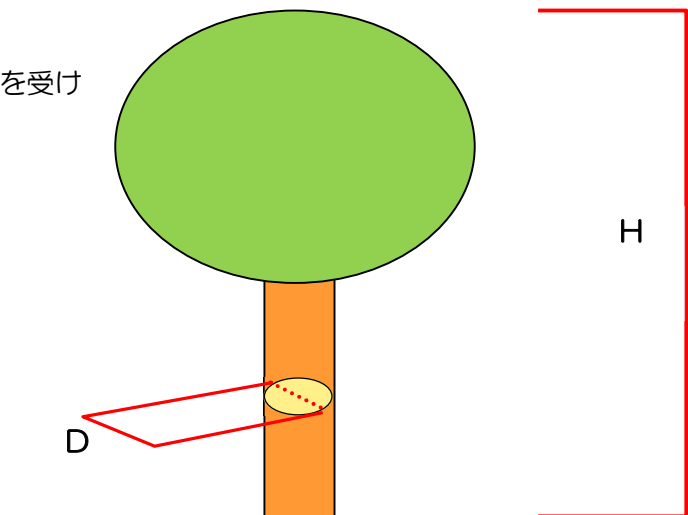


2) 形状比：けいじょうひ

樹高 (H) ÷ 胸高直径 (D)。

この値が大きくなるほど風雪害の影響を受け
やすくなる。

70以下が健全性の目安となる。



3) 胸高断面積合計：きょうこうだんめんせきごうけい

平均胸高断面積 × 1 ha 当たりの本数。

この値が大きくなるほど混み合った林分となる。

50m²以下が健全性の目安と
いえる。

